

2011年4月26日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 **立川ちばやし保存会**

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ちばやしの技術の向上と後継者育成の指導

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

ちばやしという伝統芸能文化の保存のため市内の各ちばやし団体をコーディネートし、後継者の育成の指導を行う

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

・各ちばやし連は毎週1回・時間午後7時~9時・指導毎月1回各ちばやし連の練習日に合わせる。場所町会・公民館 地域センター等
・指導者は分担表を作成し、ちばやし連より名を承継する笛・楽器・踊りを順に指導する。
・イベント 年6回参加

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

・基本的な事から指導(楽器の扱い、ちばやしの歴史を教える)。
・チームワーク、5人ちばやし
・笛-持ち方、息使い、音の出し方
・太鼓-バチの握り方、持ち方、勉強の叩き方
・盆-持ち方、バチの使い方
・踊り-歩き方、手の使い方、顔の使い方

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

・流儀の違いで戸惑いがあったが、内容の充実と楽しさを感じる様になり、後継者育成の重要性も感じ、特に出演の際には流儀上行動出来る積極性も出て来た。技術の向上の為に今後指導を続けるべきだと思います。これから専門的に指導し調和の取れる様にした。平成23年5月22日 東日本大震災の義援金活動を予定
出陣 湯島祭り、立川の夏祭、北の Parade 至誠ホーム 榎湯園、五ノ木ホーム、東上見の祭り、ちばやし大会、キーンホーム 日守老ホーム

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし